



としま

ま ち

2019年度 年末年始号

つながる地域づくり(つなまち)通信

生活支援コーディネーター通信

豊島区生活支援体制整備事業

としまベンチプロジェクトとは？

高齢者などが安心して外出できる環境づくりに加え、ベンチを置くことでそこに小さなコミュニティができ、防犯にもつながる。このような議論と検討を「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」で行うなかで「としまベンチプロジェクト」が生まれました。

高田地域の民生児童委員や町会関係者の協力で、日本福祉教育専門学校の学生、関係機関などが地図を片手にまち点検をし、地域の特徴や課題を知るところから始めました。また、まち歩きを振り返るなかで、地域に合わせてどんなベンチがあるといいか、必要かを具体的に意見交換しました。

今後ベンチの設置を目標に、住民・学生・社協など関係機関が地域について共に考え、つながりを深めていくプロセスを大切にしながらプロジェクトをすすめていきます。



第2回 プロジェクト会議参加者

地域のささえあいの仕組みづくり協議会委員

岡田委員 (高田地区民生児童委員協議会会長)

宮里委員 (日本福祉教育専門学校教員)

北川委員 (ワーカーズコープ)

山田委員 (シルバー人材センター)

ふくろうの杜高齢者総合相談センター見守り支援事業担当

深田さん 永井さん

豊島区民社協 大竹課長

C S W岸波・野口 生活支援C o 松里

10/18

第1回ベンチプロジェクト会議

地域の民生委員・児童委員など地域住民が協力し、日本福祉教育専門学校の授業でまち歩きができるといいね！

11/15

第2回ベンチプロジェクト会議

この地域がどんな地域なのか、住民、学生、福祉関係者が共に考えよう。

チェックするポイントは、公園・トイレ・買い物する場所・病院・

そしてベンチ！

11/7

高田地区民生児童委員会

高南小学校の班会議

ベンチプロジェクトについて説明。

この地域の特徴

文京区と新宿区に隣接している

神田川沿いの桜がきれい

急坂が多く移動がたいへん

交通機関を乗り継いで買い物に行く高齢者が多い

川沿いは土地が低く水害が心配

町会に加入している協力的な企業が多い

などがわかりました

民生児童委員の皆さんが、町会ごとで案内役としてまち歩きに協力してくれることになりました



12/9 高田1～3丁目まち歩き

タイムスケジュール

- 9:15 区民ひろば高南第一集合
ベンチプロジェクト説明と全体オリエンテーション
- 9:30 グループごとの作戦会議
自己紹介・役割分担など
- 9:45 まち歩きスタート
地図とチェックシートをもって出発
- 10:55 区民ひろば高南第一に集合
— 休憩 —
- 11:05 グループでの振り返り
気づいたことやベンチについて話し合おう
- 11:45 全体で共有
グループごとに発表・アンケート
- 12:00 解散



全体オリエンテーション



グループごとの作戦会議



公園のアートトイレや「ベンチがあるといいな～」と思う場所などもチェック



企業の敷地内にある解放されたベンチ

町会長・民生委員さんたちの案内でまち歩き。この地域は道路が狭く交通量が多い。買い物する場所も遠い...など地域の実情を知る機会になった



地図をみながら公園やベンチなどにチェックをつける



グループで振り返り



全体で発表

79名が区民ひろば高南第一に集結

まち歩きは、地元町会長・民生委員の皆さんによる案内で、日本福祉教育専門学校の学生や関係機関が参加しました。

グループごとにルートを確認ののち、地域ごとに「ベンチ」「トイレ」「公園」「医療機関」「買い物できるお店」そして「ベンチがあるといいと思うところ」等を地図上にチェックしながら歩きました。

1時間ほど歩いてもどり、グループで話し合い。「この地域は急な坂があるが、通行人は途中植え込みなどに座っている。高齢者は坂を歩くのは大変」など地域事情を実感できました。参加者には外国人学生も多く、日本の寒い冬に震えながら「寒かったけど楽しかった」との声もあがりました。

今後、高田地区に必要なベンチはどんなベンチか、どうすれば高齢者などが外出しやすくなり、つながりが生まれ孤立を防げるのか、地域住民や関係機関の方々とともに知恵を絞って考え、実現していければと思います。

アンケート結果 アンケート総数63枚

今後ベンチプロジェクトに「ぜひ参加したい」「都合が合えば参加したい」と答えた人が54名(89%)でした。

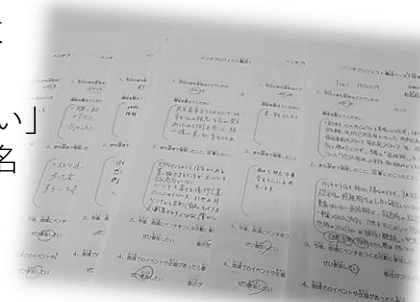
感想

ベンチプロジェクトを通して利用者さんが外に出かけるときの困難や気持ちがわかりました。

街歩き、ベンチプロジェクトも素晴らしいが、それ以上に多様な地域の関係者の方々とふれあうことで多様な「福祉観」を感じることが出来た。こういった「地域福祉」の実践、取り組みがどんどん盛り上がり、拡がることを祈念します。

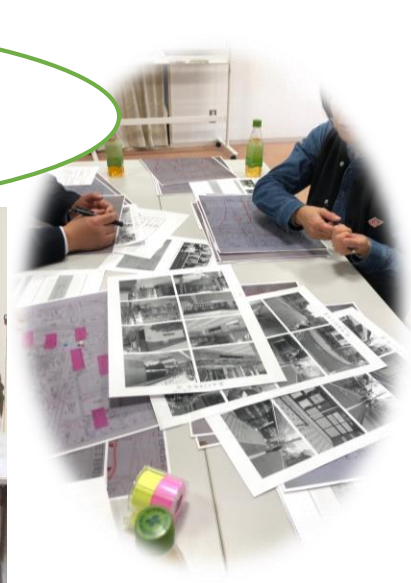
民生委員と務めるうえで地域を詳しく知ることが出来、学生さんの視点を含め発見があった。一緒に歩いた学生さんありがとうございました。

介護士の視点で改めて町を見ることが出来た。



12/16 第3回ベンチプロジェクト会議

民生児童委員、町会長、高齢者総合相談センター・
池袋敬心苑・高齢者福祉課職員、
社協CSWなどによるまち歩きの振り返り



町会ごとに集まり、結果を検証したところ「お蕎麦屋さんや神社にあるベンチを、誰でも使えるよう協力してもらえないか」「地域に協力的な企業や社員寮があるから、その敷地に置かせてもらえるのではないか」「このクリニックの先生をよく知っているが声をかけてみようか」など、住民ならではの具体的な情報が次々でできました。

「ベンチMapをつくって高齢者に配布・PRすれば行動範囲が広がる」「神田川沿いの桜がみられるコースがあればよい」など意見も広がりました。

今後、より具体的な動きに向けて、話し合いをすすめることとなります。

これからのこと

高田地域に必要なベンチはどんなベンチでしょう。狭い道沿いはサイズや形などオーダーメイドのものが必要になるかもしれません。「うちに置いていいよ」という場所の提供や「作るなら道具を貸すよ」など物品の提供にご協力いただけるのもありがたいです。

費用面や物品の寄付、参加・協力者、団体、企業などを募集します！

こぼれ話

民生児童委員さんとの打ち合わせで出てきた話です。台風19号が上陸した時のこと。

この地域は、以前神田川が氾濫し、水害に見舞われました。その記憶がある一人暮らしの高齢者が、民生委員宅に助けを求めてきたそうです。

風水害時は近くの「高南小学校」ではなく「目白小学校」が避難所になっていることがわかりました。歩行が不安定な方が、急坂を上り目白小学校まで避難することは困難です。結果として風雨の中避難ではなく自宅待機となりましたが、地震だけでなく水害時の避難の課題も共有しました。

まち
地域で見かけた

ベ
ン
チ

※今回のベンチは
区外・都外・海外



海外（チェコ）の公園
にはこんなベンチが



手形がかわいいベンチ



奉仕団体寄付のベンチ

問合せ先：豊島区民社会福祉協議会地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階
電話 03-3981-4392 E-Mail csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp
生活支援コーディネーター 松里佳奈子



豊島区民協キャラクター
ふくじい ふくみん